

# 「高大を接続する」 —高校と大学の教師の役割—

2018年2月3日（土） 13:00～17:00（12:30開場）

会場：名古屋大学 ESホール（名古屋大学東山キャンパス ES総合館1F）

＜名古屋市営地下鉄名城線「名古屋大学駅」3番出口から横断歩道を渡った正面＞

現在、戦後最大の教育改革とも呼ばれる「高大接続改革」が進行中です。なかでも最も注目されているのは、2020年の現行センター試験の廃止と新たな大学入学共通テスト（仮称）の開始などの大学入学者選抜改革でしょう。

ところで高大接続システム改革会議「最終報告」（2016年3月31日）では、「教員の資質の向上に向け、教員の養成・採用・研修の各段階を通じた抜本的な改革を行うことが必要である」としています。また、中教審は、2017年12月21日に「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～（答申）」を発表し、そこでは全国共通の新たな制度として、教育委員会と大学とが連携して設置する「教員育成協議会（仮称）」を設けることが示されました。また、大学では教職課程の再課程認定が来年度から始まります。

では、今から高校と大学は、そしてその教員は、何をどう考え、どう行動するべきなのでしょう。

このような課題のための参考として、当センターでは下記のような公開講演会を計画いたしました。多くの方ご参加をお待ちしています。

## ＜演題と講師＞（演題は若干変更する場合があります）

- **高校と大学とが対話的・協調的に実施する北米の大学入学者選抜**  
—アドミッションオフィサーとカレッジカウンセラーの職務の調査を通して—  
大谷 尚（名古屋大学大学院教育発達科学研究科教授・附属高大接続研究センター長）
- **大学との連携で行う名古屋大学教育学部附属中・高等学校の高大接続型学力形成**  
山田 孝（前名古屋大学教育学部附属中・高等学校副校長、名古屋大学非常勤講師）
- **教師教育にとって『大学』と『学校現場』の関係を問い直す**  
今津 孝次郎（愛知東邦大学教育学部教授・教育学部長、名古屋大学名誉教授）



### 参加申込方法

参加を希望される方は、①ご所属、②職、③お名前を明記の上、下記メールアドレスまでメールでお申し込みください。  
chet@educa.nagoya-u.ac.jp

### 問い合わせ先

名古屋大学大学院教育発達科学研究科附属高大接続研究センター

\*この公開講演会については、当センターのWEBページでもお知らせしています。右のQRコードからアクセスしてください。また、WEBページからも参加申込のメールを送ることができます。

<http://chet.educa.nagoya-u.ac.jp/>

